



2020 年度

明星大学地域活動報告書

2020.4～2021.3

2021.6.1 地域交流センター

CONTENTS

Topics	学部による地域連携事例	P.3
	【理工学部】「ひの市民大学」、「斜面安定問題の考え方と解析手法に関するゼミナール」の提供	
	【デザイン学部】「東京 2020 オリンピック・パラリンピック日野市ボランティアユニフォーム」をデザイン	P.4
	【経営学部】紀の國屋×明星大学 田原ゼミ学生が考案したスイーツ「ポムポムチーズケーキ」	
地域連携	1 自治体との連携	P.5
	2 産学公地域連携	P.7
活動報告	1 公開講座・イベント	P.8
	2 学友会・ボランティア活動	P.10
	3 学部・教員等による連携活動	P.11
会議	連絡会など	P.13

2020年度以降、COVID-19という新型コロナウイルスの感染拡大により、今まで行ってきた形での地域交流・地域貢献活動は困難となっています。

この報告書では、活動が制限を余儀なくされる中、オンラインで行われた明星大学のイベントや、学生たちが授業を通して地域へ貢献してきたこと、教員による各自治体への協力・協働などについて報告いたします。



近隣市との連携協定

明星大学では2015年に地域交流センターを開設し、地域交流活動を推進しています。

2020年度には、これまでに包括協定を締結した日野市・青梅市・八王子市・あきる野市に加え、多摩市と連携に関する「基本協定書」を締結いたしました。

今後も近隣5市と様々な分野での地域連携、生涯教育の推進、人的および知的資源の提供を進めてまいります。

理工学部

◆日野市中央公民館主催「ひの市民大学」に、明星大学連携コース後期講座「"エコ"の技術 —SDGs を目指して—」(全5回・オンライン)を提供しました

明星大学では、2019年度より地域交流活動の一環として、日野市中央公民館主催「ひの市民大学」に『明星大学連携コース』を開設しています。

2020年度も「"エコ"の技術 —SDGs を目指して—」をテーマに、理工学部総合理工学科の教授陣による全5回の講座を提供しました。

期間は2021年2月27日から3月27日までの毎週土曜日、全てオンライン(Zoom)で実施され、専門分野の講師が「SDGs」に沿った技術について、それぞれの視点から講義を行いました。



	日	時間	担当	テーマ名
第1回	2月27日	13:00~14:30	石田 隆張	「エコ」で見直される水力発電のおはなし
第2回	3月6日	13:00~14:30	伊庭 健二	カーボンニュートラル2050、その道筋と蓄電技術
第3回	3月13日	13:00~14:30	齊藤 剛	石油を使わないエンジン —スターリングエンジン—
第4回	3月20日	13:00~14:30	熊谷 一郎	バブルで地球を救う!? 船舶の抵抗低減技術の最先端
第5回	3月27日	15:00~16:30	宮本 岳史	エコな電車、事故を救いたい

◆2020年度「斜面安定問題の考え方と解析手法に関するゼミナール」(建築学部建築学科矢島寿一教授)

2019年度、日野市と明星大学は連携事業として、日野市の若手職員を対象に、『斜面安定問題の考え方と解析手法に関するゼミナール』を開講しました。2020年度も日野市より開講の依頼があり、同内容のゼミナールを開講することとなりました。9月24日に日野市防災センターにて第1回目の講義を開始し、3回目からは会場を大学に移して実習を行いました。

2021年1月14日以降の講義は緊急事態宣言にて中止となりましたが、3月5日に補講、3月23日に日野市での実地講義を行い、修了となりました。

	2020年度	開講内容(15:00-18:00)
第1回	9/24	ガイダンス：斜面安定問題についての解説
第2回	10/8	土の強さ(斜面安定問題と液状化)：土の強さや基本的性質についての解説
第3回	10/22	一軸圧縮試験、一面せん断試験：土の強さを計る試験の使い方と実習
第4回	11/5	三軸圧縮試験①：三軸圧縮試験の使い方と実習
第5回	11/19	三軸圧縮試験②：圧密排水せん断試験の実習
第6回	12/3	データ整理：三軸圧縮試験から得られる土質物性値の整理
第7回	12/17	斜面安定問題の考え方：斜面安定解析(円弧すべり計算)の考え方の解説
第8回	1/14	演習問題：円弧すべり計算の演習問題 (3/5に実施)
第9回	1/28	日野市内斜面の解析事例①：市内に現存する斜面の解析演習 (3/5に実施)
第10回	3/23	日野市内での実地講義



◆デザイン学部の学生有志が「東京 2020 オリンピック・パラリンピック日野市ボランティアユニフォーム」をデザインしました



デザイン学部は、本学と包括協定を結ぶ日野市との地域連携の一環として、デザイン学部川又淳教授指導のもと、デザイン学科の学生有志（7名）が「東京 2020 オリンピック・パラリンピック日野市ボランティアユニフォーム」をデザインしました。

日野市は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、2019 年 6 月からウクライナのホストタウンとなっており、2019 年 8 月には本学デザイン学部が応援用の手ぬぐいをデザイン・制作しています。

今回は、ボランティア参加者が着用するユニフォームデザインについて日野市から要請を受け、2020 年 1 月より本プロジェクトを開始しました。

約 14 か月間の制作期間を経てデザイン案が完成、2021 年 3 月 31 日に日野市主催のウクライナ文化交流イベントにて、学生たちによるプレゼンテーションを通じて初披露しました。ユニフォームは 6 月中旬に、ボランティア参加者の手に渡る予定です。

今回デザインしたユニフォームについて

ユニフォームごとに T シャツ、帽子、マスク、タオルの 4 セットをデザインしました。それぞれにあしらわれた「HINO2021」のロゴは、デザイン制作陣や、ユニフォームを着用してボランティア活動をする人たちの総称として扱っており、ロゴを元に一丸となって日野市から東京 2020 オリンピックを盛り上げていこうというメッセージが込められています。

詳しくは明星大学 WEB サイトでご覧いただけます。

◆紀の國屋×明星大学コラボ 学生が考案したスイーツ 「pom pom チーズケーキ」を 120 個限定で発売

2019 年度開講の経営学科 2 年生選択科目「起業実務」（担当：田原洋樹特任教授）の中で学生がスイーツの新商品開発を手がけたもので、コンセプトや素材から学生が考案し、100 名を超える一般顧客への試食イベントで得た声をもとに改良を加え、販売に至りました。

商品は「日野市在住の 60～70 代女性」をメインターゲットとし、小さなお孫さんと一緒に食べられるようなお土産を想定して、リンゴの形をしたチーズケーキとしました。

「pom (pomme)」はフランス語で「りんご」を意味します。チーズケーキの中には日野市のりんご【ふじ】の甘露煮が入ります。可愛らしいネーミングと見た目にもこだわりました。

明星大学 × 紀の國屋
MEISEI UNIVERSITY

新発売 明星大学経営学部様とコラボしたケーキです！

pom pom チーズケーキ

限定 120 個

日野市由木農園様のりんご【ふじ】を使っています

税込価格 **¥250**

1 自治体との連携

① 自治体と連携した各種委員会への委員参加・地域活動を一部紹介します。

継続	学部	教員	委員会など
2007	建築学部	矢島寿一教授	総合評価審査分科会（国土交通省関東地方整備局）
2009	建築学部	矢島寿一教授	総合評価審査会（川崎市）
2011	教育学部	高橋珠州彦准教授	東京都指定有形民俗文化財「武蔵野の水車経営農家」解説員（三鷹市）
2011	心理学部	松岡恵子非常勤講師	高次脳機能障がいをもつ当事者と家族の集い（大田区・フォーラム大田高次脳）
2012	人文学部福祉実践学科	加藤めぐみ教授	男女平等推進計画懇談会（青梅市）
2013	建築学部	西浦定継教授	都市計画審議会（相模原市）
2013	建築学部	矢島寿一教授	総合評価審査分科会（多摩川水系・相模川水系・国土交通省）
2014	人文学部福祉実践学科	加藤めぐみ教授	青梅市防災委員会（青梅市）
2014	理工学部環境科学系	田中修三教授 宮脇健太郎教授	相模原市環境影響評価審査会（相模原市）
2015	教育学部	石田健太郎教授	社会福祉審議会児童福祉専門分科会（八王子市）
2015	教育学部	田中藤司非常勤講師	府中市史編さん事業（府中市）
2016	理工学部環境科学系	亀卦川幸浩教授	相模原市環境影響評価審査会、2019～昭島市環境審議会（会長）
2016	心理学部	福田憲明教授	子どもの貧困対策推進委員会（日野市）
2016	心理学部	福田憲明教授	いじめ問題対策委員会（日野市）2019～いじめ問題対策連絡協議会（多摩市）
2016	建築学部	西浦定継教授	多摩市ニュータウン再生推進会議（多摩市）
2017	情報学部	山中脩也准教授	COPERU Project 地域におけるプログラミング教育の推進 （連携団体：日野市ほか）
	教育学部	北島茂樹教授	
2017	教育学部	石田健太郎教授	家庭教育施策支援アドバイザー（八王子市）
2017	教育学部	高橋珠州彦准教授	三鷹市エコミュージアム交流会（三鷹市）
2018	理工学部環境科学系	櫻井達也准教授	八王子市環境審議会（八王子市）
2018	人文学部人間社会学科	鶴沢由美子教授	男女平等推進委員会（日野市）
2018	建築学部	西浦定継教授	日野市公契約審議会（日野市）
2018	建築学部	藤村和正教授	日野市入札及び契約等監視委員会（日野市）
2018	教育学部	石田健太郎教授	子ども子育て会議（昭島市）
2018	人文学部福祉実践学科	吉川かおり教授	立川市障害を理由とする差別解消推進まちづくり協議会（立川市）
2019	理工学部環境科学系	宮脇健太郎教授	3市ごみ減量推進市民会議（日野市、国分寺市、小金井市）
2019	教育学部	奥田晃久特任教授	子ども家庭支援センター アドバイザー（東大和市）
2019	教育学部	神山敬章常勤教授	高松学習館運営協議会（立川市）
2019	教育学部	神林寿幸常勤講師	八戸市教育委員会学校事務研修講座（青森県）
2019	教育学部	阿閉暢子特任教授	都環境教育研究会（東京都）
2019	教育学部	奥田晃久特任教授	青梅市子ども・子育て会議（青梅市）
2019	人文学部福祉実践学科	吉川かおり教授	みんなで作る日野の防災プロジェクト（日野市・日野市社会福祉協議会）
2019	デザイン学部	棚橋早苗非常勤講師	東京 2020 オリ・パラ小平市民プロジェクト準備会（小平市）
2019	心理学部	石井雄吉教授	あきる野市自殺対策推進協議会（あきる野市）

2020	学部	教員	委員会など
継続	理工学部環境科学系	宮脇健太郎教授	日野市廃棄物等減量推進審議会（日野市）
継続	理工学部環境科学系	岩見徳雄准教授	日野市水と緑の会委員（日野市）
継続	人文学部福祉実践学科	加藤めぐみ教授	青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定懇談会（青梅市）
継続	人文学部福祉実践学科	山井理恵教授	高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画策定委員会（武蔵野市）
継続	人文学部福祉実践学科	横倉三郎教授	あきる野市総合計画策定委員（あきる野市）
継続	人文学部福祉実践学科	吉川かおり教授	双葉地方地域自立支援協議会（福島県）、相談支援体制検討委員会
継続	人文学部福祉実践学科	吉川かおり教授	一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会理事
継続	人文学部福祉実践学科	川松亮常勤教授	里親委託推進委員会（八王子市・小平市）
継続	人文学部福祉実践学科	鈴木裕介准教授	地域保健福祉計画策定・推進委員（あきる野市）
継続	教育学部	高橋和子教授	目黒区立中目黒小学校学校評議員（目黒区）
継続	教育学部	明官茂常勤教授	学校運営連絡協議会評価委員長（東京都立七生特別支援学校）
継続	教育学部	山内雅子非常勤講師	国分寺市教育委員会（国分寺市）
継続	デザイン学部	棚橋早苗非常勤講師	ヒガシヤマト未来大学 運営メンバー（東大和市）
継続	心理学部	福田憲明教授	不登校問題対策委員（多摩市）
継続	建築学部	西浦定継教授	あきる野市区画整備事業（あきる野市）
継続	建築学部	西浦定継教授	日野市市民まちづくり会議（日野市）、日野市都市計画審議会（日野市）
継続	建築学部	西浦定継教授	青梅市環境審議会委員（青梅市）
新規	理工学部電気電子工学系	小寺敏郎教授	電波適正利用推進協議会（総務省関東総合通信局）
新規	人文学部福祉実践学科	川松亮常勤教授	児童福祉審議会（世田谷区・荒川区）
新規	教育学部	神林寿幸常勤講師	山形県小中学校事務職員研究協議会山形支部研修会（山形県）
9月	人文学部福祉実践学科	山井理恵教授	障がい者福祉計画策定委員会 ～2021年3月（あきる野市）
11月	経済学部	臼井雅子特任教授	相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審査会第3部会長（相模原市）
11月	デザイン学部	棚橋早苗非常勤講師	立川市58街区合築施設市専有部名称選考委員会（立川市）
12月	建築学部	米田正彦教授	青梅市市民ホールに関する懇談会の委員（青梅市）
1月	教育学部	堀家千晶特任教授	東京都教師道場道徳班地区発表会講師（東京都）
2月	人文学部福祉実践学科	山井理恵教授	武蔵野赤十字病院地域医療支援病院運営協議会（武蔵野市）
2月	理工学部電気電子工学系	星野勉教授	U21 学生研究発表会（電気協会）

② 「高幡台団地シェアハウス」が終了しました

2017年4月に開始した「高幡台団地シェアハウス」は、明星大学×日野市×UR都市機構の3者による地域活性化事業で、地域活動への積極的な参加を条件に、学生が2名1組で高幡台団地に入居するという施策でした。

2020年度は4年目となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大学の授業のオンライン化、学生のアルバイト収入激減、団地内全イベントの中止などにより、これ以上の継続は困難と判断し、事業終了が決定しました。団地ほか関係各所の皆さまには、大変お世話になりました。

明星大学では、今後も、高幡台団地地域での学生の地域貢献活動を支援してまいります。



入居してくれた
学生の皆さん、
ありがとう
ございました。

2 産学公地域連携

① 公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩

多摩地域の大学を核として、大学、企業、団体、行政が加盟する「産官学」の地域コンソーシアムです。

◆常任理事会、大学部会への参加

◆研修会等イベントへの協力

② 大学コンソーシアム八王子

大学・市民・経済団体・企業・行政などが連携・協働し、魅力ある学園都市をめざして、2009年4月に設立されました。

◆常任理事会及び各委員会への参加

◆「第12回 大学コンソーシアム八王子 学生発表会」12月5日、6日

- ・座長・審査委員（理工学部総合理工学科 環境科学系岩見徳雄准教授）
- ・理工学部より、
環境システム学専攻 博士前期課程1年 村山晃人さん（上本道久研究室）
環境科学系4年生 比留川優美さん、福原佳奈さん（岩見徳雄研究室）
が研究発表をしました。



◆大学コンソーシアム八王子産学公連携部会参加

- ・八王子市の大学等で学ぶ学生による研究発表会の企画運営（教育学部 鈴木時男教授）

◆『いちょう塾』への講座を提供

- ・前期講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。
- ・2020年度後期

講座番号	学部	講師名	主題	副題
9-11	教育学部 日本コトバの会	鈴木時男 渡辺知明	本の読み方上達法	「音読」と「精読」による読書法
9-24	教育学部	金子祥之	『徒然草』を考える 第五期	都市生活者の文学として『徒然草』を読む
10-6	教育学部	金澤 修	ラテン語を始めてみよう	楽しく学ぶラテン語初歩の初歩
1-3	教育学部	齋藤晴恵	はじめての絵本講座	シニアのための読み聞かせボランティア入門

③ 美しい多摩川フォーラム 参加

④ 東京2020大会オリンピック・パラリンピック 支援協力

新型コロナウイルス感染拡大のため、学友会によるスポーツ支援は停止しています。

⑤ TAMA NEXT リーダープログラム（多摩信用金庫と経営学部の連携プログラム）

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

⑥ 多摩モノレールとのコラボイベント

多摩モノレール主催「多摩モノレール×明星大学
コラボレーション企画 ～モノレールからことば
の贈りもの～第7回五行歌作品募集」

にて、人文学部の学生たちが中学生以下の部の応募
作品の審査に協力し、明星大学賞として、入賞の10
作品に表彰状と明星大学オリジナルグッズを贈呈
しました。



明星大学賞は文具セット



活動報告（抜粋）

2020年度におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で様々な地域連携・貢献活動の停止が余儀なくされましたが、その中でも実施された活動について紹介いたします。

1 公開講座・イベント

日付	主催	タイトル（表記のない場合は Zoom 開催）	概要
7/9～ 公開中	教育学部 笠原順路教授 企画・編集	「Shakespeare in Silver/ 純銀製シェイクスピア劇」（明星大学所蔵） https://kenkyu.hino.meisei-u.ac.jp/vase-sh/	「The Vase of Shakespeare」の図柄を、照応する台座銘板の解説文と結びつけ、描かれた舞台上の劇の一瞬をシェイクスピア劇の名セリフとともに鑑賞できます。
8/2～9の うち 5日間	人文学部国際 コミュニケー ション学科	「明星サマースクールプロジェクト 2020」 (8/2,4,6,8,9の5日間)	オンラインの利点を活かし、ジョージア共和国の児童生徒 56 名が、日本の児童生徒 48 名と共に英語のクラスに参加したほか、メキシコやイタリア・ルーマニア・英国などから国際ボランティアが参加し、例年以上に国際色豊かになりました。
8/7～23 全9回	COPERU 代表団体： 明星大学	オンラインでコードな大冒険！《プログラミングパーク “CABA2020” オンライン》	明星大学と日野市が中心となり作った『コードなあそび場』。「プログラミングの冒険がはじめてのひと」や「コンピュータを使って何かやってみたいひと」を広く対象としました。
10/5～ 3月中旬	COPERU 代表団体： 明星大学	経験者/大学生が優しく寄り添う無料オンライン講座「はじめてのプログラミング」	プログラミングの学びを止めないことを目的とした、プログラミング初学者対象の、自宅で学べるオンライン無料講座。10/5～12/25、1/18～3月中旬で2度開催しました。
10/24,31	人文学部国際コミュ ニケーション学科	明星サマースクールプロジェクト 2020 Round 2 2日間の英語教室	明星サマースクールプロジェクトの第二弾。明星大学生がイタリアの大学生と一緒に、楽しく英語を教えました。
10/25	心理相談 センター	「産業・労働領域における心理支援-EAP*の現場から-」 *Employee Assistance Program (従業員支援プログラム)	企業におけるストレスチェックや働き方改革が推進されるなか、心理支援がどのように行われているのかについて、最前線で活躍されている高田俊博氏にご講演いただきました。
10/31 ～11/1	星友祭 実行委員会	「第55回星友祭」をオンライン開催 (YouTube Live)	明星大学の魅力や、校友会団体紹介など、様々な企画を取り入れた1つの番組として配信しました。
11/2	明星大学	明星大学地域交流マップを公開しました	本学における地域交流活動をマップで紹介するウェブコンテンツとして、「地域交流マップ」を公開しました。



「星友祭」ステージスタッフによるフィナーレの様子

明星大学 WEB サイト「地域交流マップ」

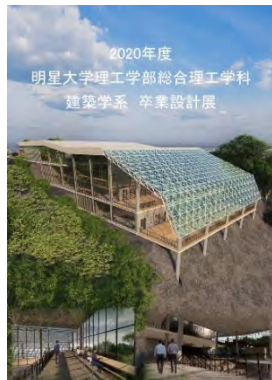
◆「地域交流マップ」

本学の地域連携、ボランティア活動の取り組みをより広く発信し、多くの方に知っていただきたく、マップを作成しました。随時更新予定です。

<https://www.meisei-u.ac.jp/special/re-map/>



日付	主催	タイトル (表記のない場合は Zoom 開催)	概要
11/28	人文学部国際コミュニケーション学科	UNHCR WILL2LIVE オンライン難民映画祭『ランナー 奇跡へのチケット』 明星大学特別先行上映会	国際コミュニケーション学科の科目「映像翻訳 1A/1B」の講義で映像翻訳の基礎を学んだ学生たちが字幕をつけた。上映会の企画・運営・宣伝も学生が主体となり、上映会のゲストとして高橋尚子氏をお招きしました。
12/5,12,19 全3回	デザイン学部	デザイン学部公開講座『デザインを学びたい社会人のためのオンライン公開講座 DESC』	第1回「未来志向から広がるプロダクト」 第2回「コスチュームからはじまるファッション」 第3回「映画の画面構成からみる映像表現の可能性」
12/20	情報学部	情報学部公開講座「はじめてのサイバーセキュリティ 堅牢化演習」	参加者がオンラインショッピングサイト運営者の立場となり、通常の利用者による購買活動を維持しつつ、攻撃者による介入を排除するポイントを一緒に考えました。
1/24～3/31	デザイン部	デザイン学部第4回卒業研究報告展 https://sotsuken.meide.jp	テーマは「仕組みをもっと、“密”にする」。物理的な距離確保が求められる今/これからの社会だからこそ、ヒト・コト・モノを「密」接に関係づけ機能させる仕組みを提案します。
2/5～3/31	理工学部	建築学系の意匠系卒業研究を一般公開	建築学系の意匠系卒業研究を WEB 公開しました。
2/27～3/27 全5回	理工学部	ひの市民大学	理工学部が、日野市の市民講座に「“エコ”の技術 — SDGs を目指して—」をテーマにした5回の講座を提供しました。
2/28	発達支援研究センター	明星大学発達支援研究センター 公開講演会『LD等や学習に苦戦する子への適切な学習教材を選ぶためのつまずきの見方』	学習に困難をもつ子どもに適切な教材選択をするにはどうしたらよいか、学習支援の方向性、教材作りの方法等を考えます。
3/6	デザイン学部	デザインので地域の価値を創造する『デザインセッション多摩 2020 (DeST デスト)』を開催 ～木でつなぐ山とまち～	4年目となる今年は「木でつなぐ山とまち」をテーマに、多摩エリアに広がる森林資源の可能性を考えます。オンライン形式のトークセッションと、多摩エリアの10拠点の会場を利用したワークショップの2部構成による開催。



2021年度も、オンラインによる講座やイベントが企画されています。

2 学友会・ボランティア活動

日付	主催	タイトル	概要
5/10	学友会	硬式野球部、送球部、籠球部	明星大学体育会の3団体が、 ・コロナウィルスに負けるな！ ・大学スポーツって素晴らしい！ を主旨とした動画を作成しました。
10/1	学友会	「初等教育研究会 どんこの会」が府中市より感謝状を贈呈されました	ボランティアサークル「初等教育研究会 どんこの会」が、府中市より感謝状をいただきました。永年の児童館や文化センターでの子どもにかかわるボランティア活動が評価されたものです。（表彰状日付は令和2年2月22日）
12/15	学友会	初等教育研究会どんこの会の取り組みが「学生ボランティア活動体験レポート」募集にて優秀レポートとして採択されました	「初等教育研究会 どんこの会」の前代表・潟野萌さん（教育学部 教育学科 小学校教員コース3年）が、一般財団法人学生サポートセンター主催の2020年度 第18回「学生ボランティア団体助成事業」代替事業である「学生ボランティア活動体験レポート」に応募し、優秀レポートとして採択されました。
2/14	ボランティアセンター	第7回ボラネット多摩オンラインイベント 被災地と多摩地域の架け橋	本イベントは、被災地の復旧・復興支援活動や多摩地域を中心とした地域での防災・減災活動に取り組んできた学生が、自らの経験を活かしながら「地域防災力の向上」や「震災の風化防止」などを目指して毎年開催しています。今年度はオンラインでの開催となり、本学からは2団体が動画発表を行いました。 ・虹色の薔薇の会 ・Freedom music

初等教育研究会 どんこの会

府中市からの感謝状を持つ潟野萌さん（左）



潟野さんの表彰されたレポートは、下記 URL よりお読みいただけます。
<https://www.meisei.ac.jp/2020/2020122401.html>

第7回ボラネット多摩オンラインイベント 被災地と多摩地域の架け橋

◆虹色の薔薇の会(明星大学)「田野畑村での10年を振り返る」



◆Freedom music(明星大学)「リモート de 音楽 with 笑顔」



・虹色の薔薇の会（明星大学）「田野畑村での10年を振り返る」
・Freedom music（明星大学）「リモート de 音楽 with 笑顔」
YouTube による配信です。「ボラネット多摩」のチャンネルにて視聴できます。

日野市イオンモール多摩平にて、パネル展を同時開催して、オンライン動画を紹介しました。

3 学部・教員等による連携活動

年	月日	学部等	教員	タイトル	概要
2014	継続	理工学部 学科共通	和田薫 特任教授	高尾山環境教育	高尾山における高尾 599 ミュージアムと高尾ビジターセンターと連携した環境教育をプロデュース。(情報学部と協働)
2018	継続	理工学部 学科共通	和田薫 特任教授	海のないところで展開する 海洋教育プログラムの開発	八王子市由井中学区の小中学校と共同して、『海洋教育パイオニアスクールプログラム～海の無い地域における小中一貫体制による海洋教育体制の構築と推進～』を開発。
2019	継続	経営学部	安岡寛道 教授	(公財)高知県産業振興センター 一事業戦略策定支援	高知県のものづくりを中心とした企業への事業戦略支援を行う、産業振興センターでのマネジメント関連の講座「経営戦略コース」監修・講師。
2019	継続	デザイン学部	棚橋早苗 非常勤講師	国分寺市光公民館地域づくり 講座「くにくきたデザイン クラブ」	国立駅北側に広がる地域の魅力を探り、自分たちのくらすまちを知り、地域の活動につなげる連続講座。
2020	継続	人文学部人文 学研究科 心理学専攻	福島里美 非常勤講師	社会的養護におけるファン クショナルタッチケアプロ グラム (FTP) の開発	乳幼児を育てる親向けに開発したタッチケアプログラムを里親や児童養護施設で活用するための面接調査とプログラムの作成、予備的プログラムの実践
	継続	経営学部	田原洋樹 特任教授	日野市ふるさと納税返礼品 開発 (経営学部 2 年生、ビ ジネス実務応用)	日野市および、姉妹都市・岩手県紫波町、株式会社紀の國屋、明星大学による協働プロジェクト。両地域に共通する、童謡たき火の作詞家巽聖歌氏にちなんで、「たき火」をコンセプトとするローカルスイーツ開発を行う。
	継続	経営学部	谷井良教授	軒先株式会社×明星大学コラ ボ 遊休スペースを使った新し い事業・サービスの提案	谷井ゼミが、シェアリングエコノミーのパイオニアである軒先株式会社(西浦明子社長)との産学連携活動として、遊休スペースを使った新しいビジネスを提案しました。
	全 4 回	教育学部	佐藤玲子 常勤教授	BB プロジェクト	町田市的高校にて高校生の探求科の学習で、社会連携プロジェクト(チームプロジェクト)を企画。
	4 月 ~11 月	経営学部	森屋一訓 特任教授	錦商店街活性化策を考える	立川市錦商店街の活性化にかかる企画の立案。

【経営学部谷井ゼミ】軒先株式会社×明星大学コラボ 遊休スペースを使った新しい事業・サービスの提案



学生が、軒先株式会社登録する遊休スペースを使った新しい事業・サービスを考え、提案を行いました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全てオンラインでの取り組みとなり、7月15日に実施された成果発表会では、3チーム12名によるプレゼンテーションがオンライン上で行われました。



【デザイン学部】企画表現演習 5
「八王子活性化プロジェクト 2020」

デザイン学部では、3年生必修科目「企画表現演習 5」において、地域の課題を解決するデザインに取り組んでいます。5年目の今年度は八王子市役所より示された4つの課題について、八王子市の活性化につながる20の提案を行いました。

詳しくは、特設サイトよりご覧いただけます。



<https://kenkyu.hino.meisei-u.ac.jp/k5-2020/>

年	月日	学部等	教員	タイトル	概要
2020	7/25	デザイン学部	「企画表現演習 5」	「八王子活性化プロジェクト 2020」	今年度の課題 ・八王子農業のブランド力向上に繋がる企画提案 ・鹿島・松が谷地域の魅力を伝える提案 ・高齢者の社会参加を促す提案 ・学生の地元企業への就職率向上策
	8月 ~12 月	教育学部	内田富男 教授	離島における国際交流支援	鹿児島県の離島喜界島の小学生や高校生ら23人と、マーシャル諸島大学とのオンライン交流を支援。
	9月 ~3月	教育学部	神林寿幸 常勤講師	宮城県東松島市、NTT 東日本宮城事業部、東北大学、明星大学の産学連携事業	「SDGs の推進に向けた統合型校務支援システムに関する連携」事業として、統合型校務支援システムによる教職員の働き方改革の効果検証を行い、これに関する学術指導を担当。
	9/4	デザイン学部	棚橋早苗 非常勤講師	小平まち巡りガイドブック 製作	こだいら観光まちづくり協会に協力し、企画・編集・デザインを担当。
	10/26	建築学部	小笠原岳 准教授	川崎市「オンライン版ネットワーク交流会」	「密閉空間を改善する数値流体計算に基づく効果的な換気対策の実践」を題目とした交流会。
	11月 ~12 月	経営学部	谷井良教授	「ひのうまいもん大図鑑」の新しい広報戦略（3年谷井ゼミナール）	日野市等が発行している「ひのうまいもん大図鑑」の新たな広報戦略を考え、ひのうまいもん大図鑑実行委員会のメンバーにプレゼンテーションした。
	11/1	理工学部物理 学系	飯塚礼子 非常勤講師	（一社）日本天文教育普及研究会北海道支部会講師	2030年北海道金環日食についての記念公講演。
	11/4	デザイン学部	学生	府中けやき並木イルミネーション 2020	イベントのポスター、チラシ、看板等のPRで活用できるロゴマークのデザイン及びキャッチコピーを明星大学デザイン学部生に募集し、採用となった。
	11/5	理工学部 環境科学系	亀卦川幸浩 教授	昭島環境未来会議 基調講演	昭島市環境部にて、基調講演「都市と気候変動」を行う。
	11/7	教育学部	藤枝充子 教授	第18回明星大学教育・保育セミナー	近隣の保育所、幼稚園、認定こども園の教職員の方々に実践的な学びの場を提供する。
	11/10	教育学部	山本陽子 教授	中央区中央区民カレッジ早稲田大学エクステンションセンターと提携	公開講座（Zoomによる）入門 日本美術史～日本美術をちょっと面白く見るために～全5回。
	11/27	教育学部	西本絹子 教授	日野市児童館・学童クラブ 全体研修	「インクルーシブ教育と学童保育」のタイトルで、主に学童クラブ指導員を対象として講演を行った。

年	月日	学部等	教員	タイトル	概要
2020	12/18	人文学部国際コミュニケーション学科	菊地滋夫教授	Africafe	アフリカの素晴らしさを伝える学生企画イベント Africafe をオンライン（YouTube 配信）で実施した。
2021	1/20	連携研究センター	須賀唯知 客員教授	ネブコンジャパン・エレクトロニクス先端技術フォーラム	企業の実装技術者向けの先端技術に関するセミナー講演
	2/1	経営学部	片野浩一教授	イノベーション多摩支援事業「産学連携共同WEB面談会」	東京都中小企業振興公社連携研究センターが参加する表記事業に対して、4名の教員で産学連携として参加。
		経営学部	安岡寛道教授		
		理工学部	吾郷万里子 特任准教授		
		理工学部	山崎芳昭教授		
	2/13	建築学部	西浦定継教授	「多摩ニュータウン再生プロジェクト第8回シンポジウム」	「多摩ニュータウンの地域課題解決に向けた新たな価値を創出する取り組みの可能性」をテーマに、オンラインで開催。
3/15	人文学部国際コミュニケーション学科 情報学部	学生	地域ブランド・プロモーション用アプリケーションを開発	人文学部国際コミュニケーション学科と情報学部情報学科の学生が協働して静岡県伊東市のNPO法人「笑顔のきずな」が商標登録した地域ブランド「富戸ブルー」のブランドプロモーション用アプリを開発して同NPO法人にプレゼンテーションを行いました。	
3/15	教育学部	今野貴之 准教授	明星大学×明治大学×屋久島おおぞら高等学校が連携でカードゲームを開発	教育学部今野ゼミと屋久島のおおぞら高等学校および明治大学国際日本学部 岸ゼミとの地域連携&高大連携プロジェクトとして、屋久島の地域をテーマとしたSDGsと関わるゲーム教材を開発しました。	

会議

◆日野市役所との連絡会（於：明星大学）

2020年7月31日 連絡事項・報告事項伝達 於明星大学

2021年3月31日 連絡事項・報告事項伝達 書面による確認

◆ひの・たま観光連携協議会協議会

ひの・たま観光連携協議会は、日野市と多摩市の団体が連携して、いわゆる観光資源だけではなく、アニメやキャラクター、ロケ地などのコンテンツを活用して、両市のファンを増やすことや来訪促進を目的として活動しています。

【協議会メンバー】

日野市、多摩市、日野映像支援隊、たまロケーションサービス、明星大学、帝京大学、株式会社JTB(事務局)

2020年度は、オンライン会議への参加のみとなりました。

【地域交流センター 2019 年度発行物のご案内】

◆活動報告

・2019 年度明星大学地域活動報告 2020 年 6 月 26 日発行

◆地域交流センター Newsletter

・地域交流センター Newsletter Vol.7 2021 年 3 月 1 日発行

なお、上記発行物は、地域交流センターの WEB ページ (<https://www.meisei-u.ac.jp/support/tkc.html>) より、ダウンロードいただけます。

明星大学公式サイト

<https://www.meisei-u.ac.jp/>



明星大学地域交流センター &

ボランティアセンターFacebook

<https://www.facebook.com/meisei.tkc/>



明星大学地域活動報告書

2021 年 6 月 1 日 発行

作 成：明星大学地域交流センター

住 所：〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1

電 話：042-591-5111（代表）

042-591-9445（直通）

E-mail：gad-tkc@ml.meisei-u.ac.jp

